

# Academic Commons Supporter

## ACSとは (2013年5月～活動開始)

- ・ 図書館の課題を学生自らが発見し、解決に向けて取り組む
- ・ 大学内外の個人・組織と協力関係を築き、東京大学が進める「新図書館計画」(2010年始動)の一環として発足した、**東大生によるボランティア組織**。

### 活動拠点

総合図書館  
(東京・本郷キャンパス)

### メンバー

13名 (2015年7月現在)  
学部生2名・大学院生11名  
(本郷・駒場・柏の各キャンパスから  
さまざまな専攻の学生が集結！)



活動期間 約1年 (5月～翌3月)

大学情報 学部学科数：10学部、15研究科、11研究所  
在籍学生数：約27,000名  
(学部生：約14,000名、大学院生：約13,000名)

## 新図書館計画とは

総合図書館を大幅に拡充し、  
教育と研究のための新たな拠点とする計画。

《新図書館が目指すもの》

1. ハイブリッド図書館
2. 国際化時代の教育を支える図書館
3. アジア研究図書館
4. 社会にひらく図書館
5. 出版文化を支える図書館



## 活動① 広報： ACSの活動をつたえる・ひろげる

### 1. ウェブサイトの情報デザイン

～図書館の役割とは？～

【従来】

- ・ メディア(本・映像etc.)ごとに分けて扱う
- ・ どの情報にも平等にアクセスできることが重要

【+α】

- ・ 多様なメディアの情報を並列に扱う
- ・ 発信者が重要と思う情報をピックアップ・編集



### 2. 新図書館計画を伝える

インタビュー

“圧縮”されている  
公式発表で伝えられる情報  
↓  
計画の背景にある考えや意図を  
インタビューの形で伝える！

←  
第1回 (2014年4月18日)  
石田 英敬前副館長へのインタビューの様子

第2回 (秋頃予定)  
久留島 典子館長と堀 浩一副館長  
へのインタビューに向けて、  
現在準備中！



### 3. ニュースレター『図書館の窓 増刊号 New Library Project』の編集

現状の計画を広く、  
学生にわかりやすく発信！



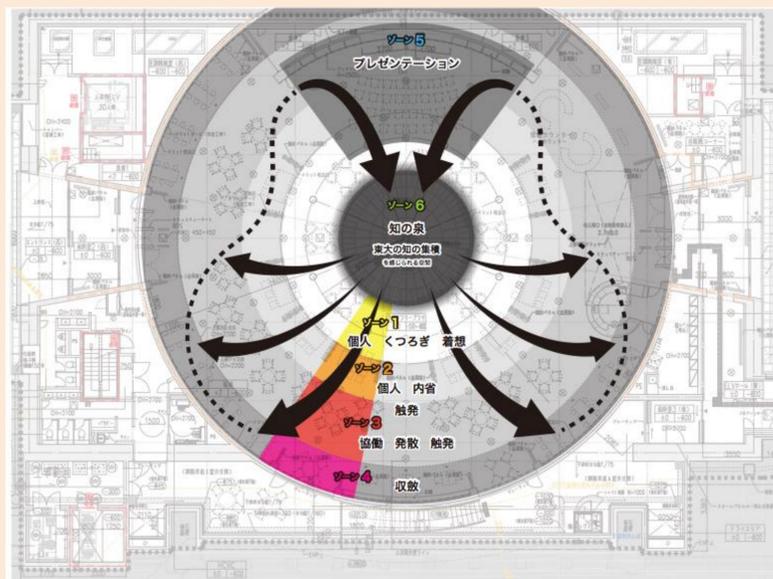
## 活動② フロアプラン検討： 未来の図書館をつくる

### 総合図書館新館の地下最上階のデザイン

- ・ 学生が相互に学び合い、知を立案する場所
- ・ 本や学術情報の世界へ入っていく場所

をつくりだす空間とは？

### ライブラリープラザ検討図



### ゾーン1

気軽に立ち寄り、憩う。  
知の泉に緩やかに触れ、  
触発される空間



### ゾーン2

ひとりで学びつつ、  
新しい知との  
出会いに開かれる  
空間



### ゾーン3

オープンなグループ学習、  
議論、プレスト、  
発散する空間



### ゾーン4

半クローズドな  
グループ学習。  
知やアイデアを収斂、  
形にする空間

### ゾーン5：アカデミックステージ

知の発信と共有、  
成果発表、  
研究内容・研究方法を  
共有する場



### ゾーン6：噴水下の象徴的意味とは？

「知の泉」「知の貯水池」という  
図書館使命の原点として、  
地下書庫の書物から沸き上がり、  
上空から降ってくる「知」を受け止めるイメージ



## 活動③ 東大院生によるミニレクチャプログラム

～大学図書館の新たな役割：“大学の教育との連携”の実践～

新図書館計画 × 大学総合教育研究センター

アカデミック・コモンズ・サポーター  
(ACS)

東京大学フューチャー・ファカルティ・プログラム  
(FFP)

### FFPとは？

大学教員をめざす大学院生を対象にした、さまざまな分野の大学院生と交流しながら模擬授業を通して“教える”実践力を身につけるべく、講義手法（アクティブラーニング）を学ぶプログラム

ミニレクチャは、FFPでアクティブラーニングを学んだ大学院生を講師に招き、研究分野を紹介してもらい、参加者が主体的に考え議論する、図書館で行う授業

#### ・ 事前勉強会（2回実施）

参加者が理解しやすい内容のレクチャにするために、事前の勉強会で講師と一緒に内容・構成・タイムスケジュールなどを検討、ブラッシュアップします。



#### ・ ミニレクチャ当日

講師のサポートをしつつ、講師と参加者の議論に参加したり、アクティブラーニングの手法を用いた講義の意義や、図書館にうまれつつある新しい学びの場について説明します。



### 図書館の未来をつくる

—図書館の新しい活動の実践



たとえば...  
映画、読書、など1つのテーマについて自由に語り合う会を開きたい。  
他にも...  
ビブリオバトル、本屋大賞東大版 etc...

### 未来の図書館をつくる

—未来の図書館をつくる具体的計画案への参加



ミニレクチャ等のイベントで得た経験を、図書館新館ライブラリープラザの構想・立案へ生かす。  
・ 学生が相互に学び合う場  
・ 主体的な議論の場  
とはどのような場だろうか。

### つたえる・ひろげる

—広報・PR活動の多角化

たとえば...



図書館グッズ  
図書館にあるものをモチーフにしたブックマークやカレンダー

建物としての図書館の活用  
ロケ地に!? 結婚式に!?

### みんなとつながる

—学外・他大学・地域との交流・連携



たとえば...

図書館のゼロ時間目  
いわゆる「朝活」の時間帯に大学の先生を講師に招いて学生・大学職員・地域の方を対象としたミニレクチャを行う。